

# 梨の品種と出荷時期

## 出荷カレンダー

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幸水	●————●								
豊水		●————●							
あきづき		●————●							
新高			●————●						
新興				●————●					
豊里					●————●				
晩三吉					●————●				

※天候により、出荷時期が異なる場合があります。

## 梨の品種

<p><b>幸水</b></p>  <p>収穫期…7月中旬～8月中旬</p> <p>果実の大きさは350g程度 酸味が少なく、多汁で、食味良好。</p>	<p><b>二十世紀</b></p>  <p>収穫期…8月上旬～8月下旬</p> <p>果実の大きさは320g程度 青梨でほのかな酸味。多汁。</p>	<p><b>豊水</b></p>  <p>収穫期…8月下旬～9月中旬</p> <p>果実の大きさは400g程度 柔軟多汁で、酸味と甘味が絶妙なバランス。</p>	<p><b>あさづき</b></p>  <p>収穫期…8月下旬～9月中旬</p> <p>果実の大きさは450g程度 甘味が強く、多汁で優れた食感。</p>
<p><b>新高</b></p>  <p>収穫期…9月下旬～10月中旬</p> <p>果実の大きさは700g程度 肉質が柔らかく、風味豊か。</p>	<p><b>新興</b></p>  <p>収穫期…10月中旬～11月中旬</p> <p>果実の大きさは450g程度 甘味が強く味わいも良好。</p>	<p><b>豊里(ほうり)</b></p>  <p>収穫期…10月中旬～10月下旬</p> <p>果実の大きさは700g程度 上品な甘さ、濃厚で芳醇な食味。優れた貯蔵性。</p>	<p><b>晩三吉</b></p>  <p>収穫期…11月上旬～11月下旬</p> <p>果実の大きさは700g程度 ほのかな酸味と上品な甘味。優れた貯蔵性。</p>

おおいたの旬がくる。  
その恵みに感謝して…

# しゅんくる

<http://theoita.com>

vol.27





↑日光が均等に行き届くよう、横に広げて成長させた梨の樹



↑箱詰め作業も丁寧にされる  
→湾に輸出される梨(新高)を、害虫が混入しないようにエア洗浄しているところ

↓光センサーで「甘さ」「酸味」「色」「傷み」「重量」などの検査を行い、出荷等級に反映させ、厳選出荷を行っています



主な産地  
日田市、中津市、由布市、九重町、日出町、国東市

世界に羽ばたく  
メジャー級果実

# 梨



梨生産者  
小埜照明さん

大分県日田市は梨の産地。「四季を通して日田の梨」を合言葉に、夏の幸水から冬の晩三吉まで多くの品種を栽培しています。

大分県西部に位置する日田市。昼と夜、夏と冬の気温差が大きい盆地は、果実の栽培に適しており、日田の梨は、生産量、品質ともに大分県を代表するブランドとなっています。栽培が始まってから100年以上経つ日田の梨は、とにかく甘くてジューシー。「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」「豊里」など数多くの品種があり、収穫も7月から11月まで長期にわたります。「JAおいた日田梨部会」では、「四季を通して日田の梨」を合い言葉に、さらなる

発展のため情報交換・勉強会などの取り組みを続けています。「日田の梨がこれからも脚光を浴びるためには、地域全体で生産技術のレベルアップを図ることが大切です」と小埜照明さん。

梨は「収穫」のタイミングが重要です。表面に光沢が出てくる頃が適期ですが、梨は、ほんの数日で甘みや、みずみずしさが変化するだけに、豊富な経験と確かな判断力が必要になります。そこで生産者が集まり「目均会」や「収穫色合せ」という確認作業を行います。各生産者がそれぞれ収穫した梨の味や硬さにバラツキがないよう、収穫するにふさわしい適期の共通認識を図るのです。さらに、長年、悩まされ続けていた台風対策も、みんなで知恵を絞りました。梨の棚の下に鋼管パイプを設置し補強。さらに、支柱用のパイプも設置することで、

強風による果実の落下を最小限に抑えることに成功したのです。

日田の梨は今、海外へと輸出され、大きな注目を集めています。とくに「新高」が、台湾の中秋節や春節の時期に大ヒット。「私たちが大切に育てた800gを越える大玉の新高が、海を渡り、高級品として受け入れられたのは大きな喜びであり、自信につながりました」。韓国産が輸入される梨の9割を占める台湾で、韓国産の倍の値段で取り引きされる理由は、確かな品質と甘さゆえ。「日田の梨を多くの人に届けたい」という、生産者全員の思いがひとつになり、日本はもちろん、海外でも通用する“メジャー”級ブランドが生まれたのです。